

独立行政法人日本スポーツ振興センター
国立登山研修所長 殿

団 体 名
(教育委員会、大学、学校、連盟、協会、山岳会、クラブ、勤務先等の名称)

所 属 長 印

所 在 地 〒

〔担当者氏名 TEL 〕

平成30年度積雪期登山基礎講習会の開催について (回答)

平成30年11月15日付け 日ス振 登 第112号で通知のあった標記のことについて、下記の者を適当と認め参加を申し込みます。

推薦 順位	氏 名	年 齢	住 所	電 話	所 属
1			〒		
2			〒		
3			〒		

添付書類

- ・参加申込者個人票 (別紙2)
- ・登山経歴書 (別紙3)
- ・健康・体力調査票 (別紙4)
- ・参加確認書 (別紙5)
- ・返信用封筒 (参加希望者宛)
※必ず角型2号封筒を使用し、宛名の面に郵便番号、住所、氏名を記入し**140円**切手を貼付してください。
- ・返信用封筒 (推薦者宛)
※必ず長形3号封筒を使用し、宛名の面に郵便番号、住所、宛先名を記入し**82円**切手を貼付してください。

※上記の欄が足りない場合はコピー等で対応してください。
応募総数が多い場合は同一の団体等からの参加人数を調整することになりますが、その際は、原則として推薦順位上位の者から参加を認めていきますので御了承ください。

※参加申込者から取得した個人情報については、利用目的の範囲内で適切に取り扱います。

別紙 2

平成30年度積雪期登山基礎講習会 参加申込者個人票

ふりがな				性別	男 ・ 女
氏 名					
生年月日	年	月	日生	歳(12月1日現在)	
現住所	〒 電話() 携帯電話 ()				
緊急連絡先	〒 氏名 続柄() 電話() 携帯電話 ()				
所属団体名					
所属団体住所	〒 電話()				
所属校住所 ※所属団体住所と異なる場合	〒 電話()				
所属長名		学校長名 ※所属長名と異なる場合			
所属団体での役職		所属年数 (所属校)		年	

※所属校住所等は教職員の方のみ記入してください。

● 主な部活動(山岳会、クラブ)指導歴を記入してください。 ※教職員の方は、山岳関係以外の部活動についても記載してください。

年	月	指導歴	役職	部員数
平成18年 ~19年	4月~3月	記入例 富山県立劔高等学校山岳部	顧問	30名

● 現在指導している部活動の指導体制 ※教職員の方のみ記入

顧問()名	副顧問()名	その他()名	合計()名
--------	---------	---------	--------

※参加申込者から取得した個人情報については、利用目的の範囲内で適切に取り扱います。

平成30年度積雪期登山基礎講習会 参加者登山経歴書

ふりがな 氏 名	(年齢 才)		所属団体名	
所属部活動 (団体) 構成員数	名	役務		所属年数 (所属校) 年

登山研修所主催の研修会参加歴	平成	年度	研修会
	平成	年度	研修会

- あなたがこの研修会に参加する目的について記入してください。

- 意見交換したいテーマ(クラブや部活動運営について、活動の活性化策など)

- 特に学びたいこと(積雪期登山のリスクについて、冬山の気象についてなど)

- 研修会参加後は所属クラブ等への伝達講習を実施していただきます。
伝達講習の実施状況について、追跡調査(アンケート形式)に協力いただけますか。

はい	いいえ
----	-----

裏面へ続く

氏名		所属	
----	--	----	--

●直近3年の山行経験について回答してください。

山行日数

幕営日数

合計	無積雪期	日
日	積雪期	日

合計	無積雪期	日
日	積雪期	日

●主な山行歴を記入してください。

年 月	日程	行 程 ※2000m以上の山は○で囲んでください。	役割 (参加人数)	山行形態	平均行動時間
	記入例 HO△月 2泊3日	奈良田-御池小屋(テント泊)-北岳-間ノ岳-農鳥小屋(テント泊)-農鳥岳-大門沢下降-大門小屋-奈良田	リーダー (5人)	テント泊縦走	10時間

健康・体力調査票

所 属 _____
 氏 名 _____
 年 齢 _____ 歳 性 別 _____

- 1 アレルギーはありますか。 ない ある(具体的に _____)
- 2 生活習慣 喫煙 すわない すう 1日に()本x()年間
 飲酒 しない する (種類と量 _____)
- 3 既往症
 ・ハチに刺されたことがありますか？ ない ある(具体的に _____)

4 服用している薬 _____

5 身体状況

身長		cm
体重		kg
平熱		℃
血 圧 最高		mmhg
最低		mmhg

6 凍傷に罹患したことはありますか？ いいえ はい (罹患部位・程度: _____)

●健康状況について

- 1 日常生活
- | | | |
|-----------------------|----|-----|
| ・疲れやすい | はい | いいえ |
| ・睡眠が不足している | はい | いいえ |
| ・普段、朝食は食べない | はい | いいえ |
| ・日常感じている不具合を記入してください。 | | |

- 2 山行中の問題点
- | | | |
|-----------------------------------|----|-----|
| ・山行中に膝が痛くなる | はい | いいえ |
| ・重たい荷物を背負うと息が切れる | はい | いいえ |
| ・バランスを崩した場合、リカバリーができずよく転倒する | はい | いいえ |
| ・山行中は快眠(熟睡)できない | はい | いいえ |
| ・これまでの山行中における健康上のトラブルあれば記入してください。 | | |

● 日常的な運動やスポーツについて

- ・日常的に運動やスポーツを (している ・ していない)
- ・日常的に行う運動やスポーツの種目と内容 _____
- ・日常的に行う運動やスポーツの頻度 1週間に 回 1回あたり 時間

● あなたの経験や体力について

- ・登山に出かけるペース<○印を付けてください。>
 (毎週1回は・2週間に1回くらい・1か月に1回くらい・2か月に1回くらい・半年に1回くらい・1年に1回くらい)
- ・ぼっかについて 背負って確実に歩けるザックの重量 約 kg
- ・行動時間 通常の1日の行動時間 時間
 軽装でガイドブック等のコースタイムの % 程度のタイムまでなら疲労せずに歩き続けられる。
- ・体力の自己評価 自信がある 普通 自信がない
 (生徒以上の体力がある) (生徒より体力がない)

5 4 3 2 1

・その他特記事項等 _____

※ 参加申込者から取得した個人情報については、利用目的の範囲内で適切に取り扱います。

参 加 確 認 書

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所（以下「国立登山研修所」という。）は、登山の健全な発展を図るため、登山指導者養成のための研修を行うことを目的として設置されています。

本研修会「平成 30 年度積雪期登山基礎講習会」では、高等学校等において登山の指導的立場にある教職員等を対象に積雪期登山に必要な基礎的な知識や技術の習得を目指します。

実技講習には国立登山研修所敷地内及び周辺山域の雪上における基礎技術講習や幕営講習も含まれます。あらためて、登山は危険を内包した自然の中で行われるスポーツであることを十分に認識した上で御参加ください。

国立登山研修所及び実技講師は、安全管理上の指導もしますので、その指示を踏まえ安全に研修会が運営されるよう御協力ください。

国立登山研修所としては、研修会における安全対策には万全を期してまいります。登山は自然の中で行う活動であるため、それでも万が一、事故が発生した場合には応急処置を施し、必要に応じて、最寄りの病院へ搬送いたします。その際、国立登山研修所職員が随行または病院に待機するとともに、御本人の緊急連絡先に連絡いたします。

また、傷害保険につきましては、国立登山研修所が御紹介しますので、必ず加入してください。

上記のいくつかの留意事項を御確認いただいた上で、下記に御署名、捺印いただき、他の必要書類と併せて提出して下さるようお願いいたします。

平成 年 月 日

氏 名

印 （本人署名捺印）

現住所